

ローソク足

1. ローソク足の基礎

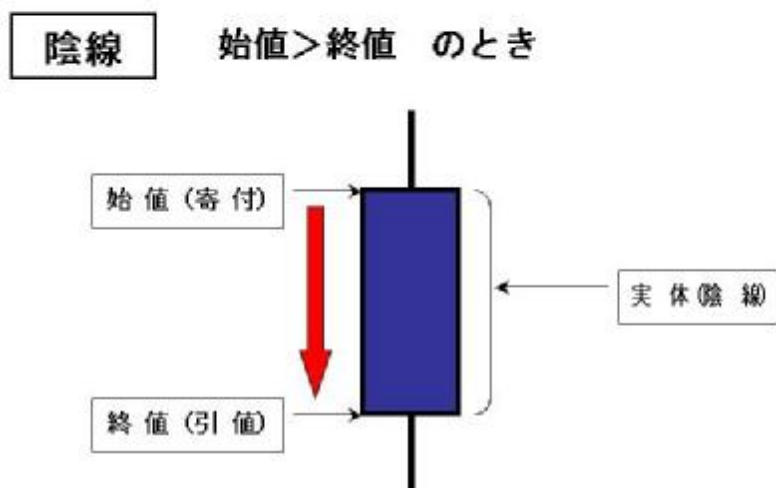
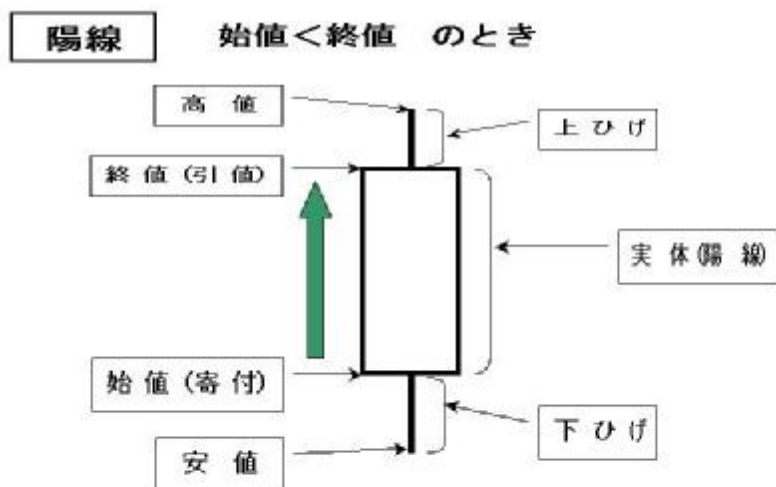
ローソク足は日本が生み出した、世界に誇れる罫線です。

4本値（始値・高値・安値・終値）を使用しローソクの形に表したもので、ビジュアルに4本値を把握できるチャートとなっています。

始値よりも終値の方が高いものを陽線といい白ヌキで、始値よりも終値の方が安いものを陰線といい黒ヌリで表します。

また安値と高値は上下に突き出したひげと呼ばれる線で表します。

ローソク足には日足（ひあし）、週足（しゅうあし）、月足（つきあし）、年足（ねんあし）などがあり、ローソク足1本がその期間の値動きを示します。

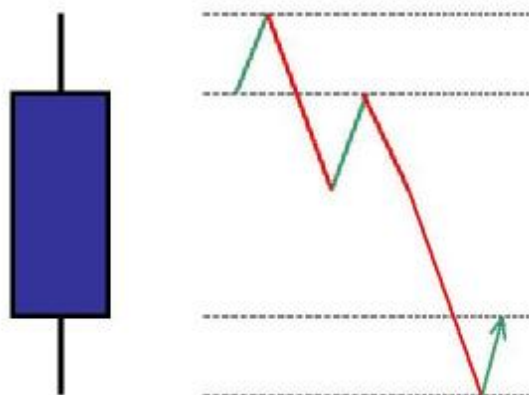


ローソク足に慣れると、その期間内で**値がどのような動きをしたのか、およその察しがつけられます。**

陽線から読み取るチャート上の動き



陰線から読み取るチャート上の動き



ということは、**ローソク足の形態を見れば、相場の勢いの強弱もある程度の判断がつけられる**ということになります。







2. ローソク足の形態

ローソク足の形態から相場の勢いの強弱もある程度の判断がつきます。
先に説明しているものほど、勢いが強いものとなります。

①大陽線

数値上の明確な定義はないが、始値より終値が大幅に高く、ローソク足実体の柱の形が大きいもの。

値がぐんと上がっており、相場の勢いが強いことを示します。

名称	形状	想定される動き
陽の丸坊主		
陽の大引坊主 (おおびけ)		
陽の寄付坊主 (よりつき)		

陽の丸坊主（ようのまるぼうず）

寄付いてから常に買いが売りを上回って、引けまでその勢いが続いています。
相場に相当な勢いがあることを示す形態です。

陽の大引坊主（ようのおおびけぼうず）

寄付いて少し売り込まれたが、その後買いが上回り、結局引けまでその勢いが続いています。

陽の寄付坊主（ようのよりつきぼうず）

寄付から買いが上回り続けたが、引け際に少し売られています。


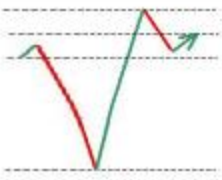




買いの勢いが少し弱まったか、何割かが利益確定に回っていると読めます。

高値圏でこのパターンが出ると流れが変わりやすいと言われますが、買いが相対的に多いのは明白ですのでこの先も上昇傾向にあると見るのが一般的です。

②小陽線

陽線ではあるが、**大陽線ほどの始値と終値の差がない**もの。

上げ幅が少ない、つまり**相場の勢いがさほど強くなく迷いがある**ことを示します。

名称	形状	想定される動き
下影陽線 (したかげ)		
コマ		
上影陽線 (うわかげ)		

下影陽線 (したかげようせん)

寄付からの売り優位を跳ね返し、引けは寄付よりも高くなっており、これ以降の上昇を暗示しています。

一般的に**押し目時に安値圏で出現すれば買いのサイン**とも言われています。

コマ

小陽線のなかでも寄付と引値の差が特に少なく、実体部分の少ないもの。

買いも売りも判断がつかず、**迷っていて勢がありません**。

上影陽線 (うわかげようせん)






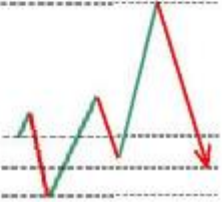
寄付からの買い優位が逆転され、引けはかろうじて寄付よりも高く終わるにとどまっており、油断のならないパターンです。

高値圏で出た場合には流れが変わりやすいと言われています。

③小陰線

陰線ではあるが、**大陰線ほどの終値と始値の差がない**もの。

下げ幅が少ない、つまり**相場の勢いがさほど強くなく迷いがある**ことを示します。

名称	形状	想定される動き
下影陰線 (したかげ)		
コマ		
上影陰線 (うわかげ)		

下影陰線 (したかげいんせん)

寄付からの売り優位を跳ね返し、引けは寄付よりも高くはならなかったものの、それでも寄付き近くまで戻しています。

一般的に**押し目時**や**底値圏**で出現すれば**買いのサイン**とも言われています。

コマ

小陰線のなかでも寄付と引値の差が特に少なく、実体部分の少ないもの。

買いも売りも判断がつかず、**迷っていて勢がありません**。

上影陰線 (うわかげいんせん)

寄付からの買い優位が逆転され、引けは寄付よりも安く終わってしまったわけですから、**下落基調のサイン**とも言われています。

④大陰線

終値が始値より大幅に低く、ローソク足実体の柱の形が大きいもの。
 値がぐんと下げており、相場の勢いが弱いことを示す。

名称	形状	想定される動き
陰の寄付坊主 (よりつき)		
陰の大引坊主 (おおびけ)		
陰の丸坊主		

陰の寄付坊主 (いんのよりつきぼうず)

寄付いてずっと売り込まれたが、引けにかけて少し値を戻しています。
 売りの勢いが少し弱まったか、逆張りの強気の買い手が出たとも読めます。
 底値圏でこのパターンが出ると売り尽くしの後に買い戻しが入ったと考える人もいますが、**これだけで下落基調が変わったと判断するのは危険**です。

陰の大引坊主 (いんのおおびけぼうず)

寄付いて少し買われたが、その後売りが上回り、結局引けまでその勢いが続いています。
売り優勢でこのままさらに下げてゆく可能性が高いです。

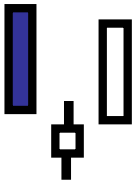
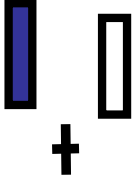
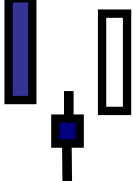
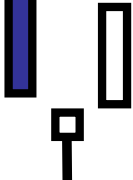
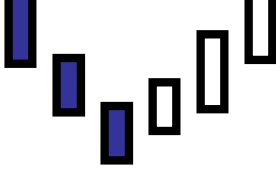
陰の丸坊主 (いんのまるぼうず)

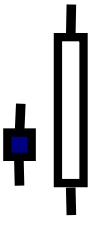
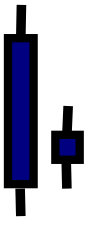
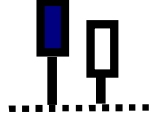
途中に上下はあっても、寄付いてから常に売りがを買って上回って、引けまでその勢いが続いており、**相当弱い**と読み取れます。

3. ローソク足からの買いと売りのタイミング

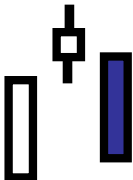
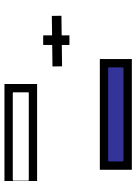
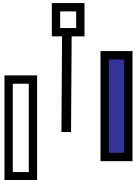
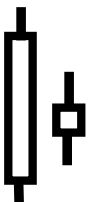
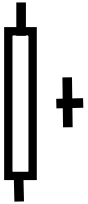
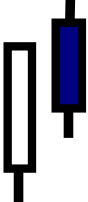
ローソク足単体でも意味を読み取れますが、より確度の高い予想を立てるため、二本以上の組み合わせにより買いと売りのタイミングを計ることも可能です。

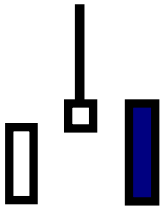
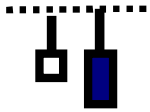
買いサイン

名称	形状	解釈
明けの明星 (あけのみ ようじょう)		底値圏で陰線が出現した後、陰のコマまたは陽のコマを形成し、さらにその後、陽線を示現、上昇基調転換の典型です。 売り手による下げの後、買戻しで反発し、さらに売り手の買戻しが入った形です。
捨子線 (すてごせん)		底値圏で陰線が出現した後、十字線を形成し、さらにその後、陽線を示現、上昇基調転換の典型です。 売り手による下げの後、買戻しで踏み止まり、さらに売り手の買戻しが入った形です。
たくり足		下落過程で大きく売り込まれはしたものの、長い下ヒゲをつけた下影陰線を示現後、陽線でさらに反発。 押し目買いの要注意の形態です。
勢力線		下落過程で大きく売り込まれはしたものの、長い下ヒゲをつけた下影陽線（高値引け）を示現後、陽線でさらに反発。 押し目買いの要注意の形態です。
赤三兵 (あかさん ぺい)		底値圏で小陽線が3回続いた形態です。 目利きのきくトレーダーが買い集めている状態とも言われています。 上昇基調転換の典型です。

<p>包み足</p>		<p>底値圏で陰線を示現した後、それを包み込んでしまうような大陽線が示現した形態です。 包みが大きいほど買い意欲は旺盛です。 強気の包み足とも呼ばれます。</p>
<p>陰の陰はらみ</p>		<p>底値圏で大陰線を示現した後、それにすっぽり収まるような小陽線が示現した形態です。 売り勢力の消耗を示し相場の転換が近いととれます。</p>
<p>毛抜き底</p>		<p>2本の安値が揃った形態です。 前の足の安値を割れずに下値抵抗を見せていることで、売り勢力の消耗を示しています。</p>

売りサイン

名称	形状	解釈
宵の明星 (よいのみ ようじょう)		天井圏で大陽線が出現した後、陰のコマまたは陽のコマを形成し、さらにその後、陰線を示現、下降基調転換の典型です。買い手による上げの後、戻り売りで反転し、さらに買い手の逃げが入った形です。
捨子線 (すてごせん)		天井圏で大陽線が出現した後、高寄りして十字線を形成し、その後は一転し、陰線を示現、下降基調転換の典型です。買い手による上げの後、戻り売りで伸び悩み、さらに買い手の逃げが入った形です。
首吊り線		天井圏で上放れして寄り付いた後、下押しして結局買い戻され、高値引けの小陽線。買い戻しの下ヒゲで一見強そうに見えますが、天井圏では売り転換とみられます。
陽の陽はらみ		前の足よりは高く寄り付いたが伸びきれずに前の足より安く引けた形態です。この後さらに十字線示現したら即時に売りだと言われます。
はらみ寄せ線		考え方としては陽の陽はらみと同じものです。前の足よりも高く寄り付いたのに方向感が出ない訳ですから、買い手の力が弱まっていると取れます。
かぶせ		天井圏で陽線を示現した後、高値寄りしたものの、買いが続き前の足の中まで押し戻された陰線が示現した形態です。

<p>上伸途上の 上影陽線</p>		<p>長い上ヒゲの小陽線で、売り側が勢いをつけている形態です。 上昇のひとまずの休止を示すと言われています。</p>
<p>毛抜き天井</p>		<p>2本の高値が揃った形態です。 前の足の高値を抜けずに上値抵抗を見せていることで、買い勢力の消耗を示しています。</p>

4. ローソク足の注意点

ローソク足は見る人の主観に依存してしまう部分が大きいです。

大陽線と小陽線をはっきりと区別する基準はありませんし、ローソク足数本の組み合わせによる形態も見る人によって解釈がまちまちになることがあります。

したがって、テクニカル指標 (MACD や RSI など) で客観的な判断を下した後、あくまでも補足的な判断として用いることをおすすめします。